



宇部市で行われた調印式の様子

インバウンド強化へ阿川社長継続

NTA旅行M&Aで事業拡大

萩市土原の旅行代理店株式会社エヌティーエ旅行(阿川仁海代表取締役)が、千葉市のSOUホールディングス(松丸喜樹代表取締役)に事業を譲渡した。

エヌティーエ旅行は2001年創業。JT Bの総合提携店として成長し、山口県内に7店舗、広島県に2店舗を持つ。従業員数は約40人で年商は約20億円。県内の旅行代理店ではトップのシェアを誇る。

一方のSOUホールディングスは、保育や介護、旅行業など26社を抱えるグループ企業。グループ全体の従業員数は約4300人、年商は約370億円。

今回の事業譲渡によつて、エヌティーエ旅行はSOUホールディングスの完全子会社となるが、本社は引き続き萩市に置き、社名はそのまま。

阿川社長も続投する。2020年から萩市観光協会の会長を務めている阿川社長は「グループの一員となることで生まれる相乗効果を利用して、萩に人を呼び込むような商品開発にも取り組みたい」と話しており、今後はSOUホールディングスの組織力を生かしたインバウンド事業も見据えているという。



池永 祥吾さん

1987年萩市平安古出身。名城大学卒業後、山口県教員に。萩商工高校赴任中にラグビーの指導に目覚め、2021年に萩ラグビースクールを立ち上げ。今年4月からは算数・数学塾を経営する傍ら、ラグビーの裾野を広げる活動に励む。

萩ジュニアラグビースクール

タグラグビー

対象：幼児、小学生
練習日時：毎週土曜午後2時～4時
練習場所：旧土原保育園グラウンド

ミニ・ジュニアラグビー

対象：小学3年～中学3年
練習日時：毎週水曜午後7時～8時半、毎週土曜午前9時～11時
練習場所：萩商工高校グラウンド

見学・体験は
随時受付中

問い合わせ：池永さん
☎080-1636-7921

学が苦手な生徒の指導に情熱を傾けた。転機は萩商工赴任。ラグビー部の顧問を任された。当初は県外から有望な選手が来ていたが、強豪校の台頭などで難しくなり「地元出身者で強いチームを作りたい。そのために裾野を広げなければ」と思うようになった。

市内のラグビー関係者らの後押しもあり、萩ラグビースクールを設立。タツクルなして幼児でも取り組めるタグラグビーから始めた。指導で心がけるのは「こうしなさい」と押しつけず「どうしたい?」と問いかけること。数学につまづいた生徒の指導経験から学んだ。「トッパスリート育成にこだわらず、ラグビーが好きな子どもを増や

シリーズ華夷弁別連動企画

はぎあぶ暮らし

Vol.
3

地元選手のチームを全国へ

萩ジュニアラグビースクール 池永 祥吾さん

元萩商工高校教員の池永祥吾さんが中心となって運営する萩ジュニアラグビースクールが今年度から、タツクルありのミニ・ジュニアラグビークラスを開始した。ボランティアによる育成活動に情熱を傾ける陰には、ラグビーに留まらずふるさとへの強い思いがあった。

ラグビーとの出会いは中3。萩高校でラグビー部に所属しながらユースチームでサッカーもしていた。大学は数学の教員養成課程を選択。「故障した

こともあり、ラグビーを続けることは考えなかった」という。卒業後、他県の採用試験にも受かったが、迷わず山口県に帰る。初任校では、数

学が苦手な生徒の指導に情熱を傾けた。転機は萩商工赴任。ラグビー部の顧問を任された。当初は県外から有望な選手が来ていたが、強豪校の台頭などで難しくなり「地元出身者で強いチームを作りたい。そのために裾野を広げなければ」と思うようになった。

市内のラグビー関係者らの後押しもあり、萩ラグビースクールを設立。タツクルなして幼児でも取り組めるタグラグビーから始めた。指導で心がけるのは「こうしなさい」と押しつけず「どうしたい?」と問いかけること。数学につまづいた生徒の指導経験から学んだ。「トッパスリート育成にこだわらず、ラグビーが好きな子どもを増や

したい。スポーツに共通する基礎を身につけてくれれば、ラグビー以外の種目に移っても構わない」とも。

池永さんが夢見るのは、地元出身者のチームが全国大会で山口県代表として活躍すること。4月に立ち上げたタツクルありのクラス(小3・中3)はそのための第2ステップ。教職を捨ててのチャレンジだが「妻や家族は応援してくれている。次はスクールの中学生でチームを編成したい」とまだまだ情熱は尽きない。

シリーズ華夷弁別

— 若者たちの挑戦 —

華夷弁別とは中国から来た言葉で、吉田松陰は弟子たちに「その地でがんばればそこが中心となる」と教えた。番組では、萩阿武地域で活躍している人に密着取材。

放送時間：月曜～日曜 午後7時～ほか